

NPO法人自然スクールTOECの事業の一つに阿南市の「自由な学校」という名前のフリースクールがある。「ここで学びたい」と通学する子どもは1年生から6年生まで全部で19名。自由な学校の1日はモーニングミーティングで始まる。ミーティングでは①困ったこと②話したいこと③今日やりたいことが話し合われ、子ども達は興味や関心をもとに各々やりたいことを決め、1日をデザインしていく。時間割も教科書もないが、遊びと学びが混然一体となってすすんでいく。通称“おっきなおうち”と呼ばれる炊事場兼土間と広い部屋をもつ手作りの小屋！？と500坪を超える広大な農園。そこでの生活体験や自然体験も学びの場となる。また川や海、図書館や体育館等活動や学びをすすめ深めるための場や人を求めて出かけていくこともしばしばだ。

この「自由な学校」を設立したのがTOECの代表の伊勢達郎さん。大学時代にキャンプと出逢った伊勢さ

んはそこで物や情報や便利さとひきかえに現代社会が見失った自然とのふれあいや生活体験の大切さを実感した。また同時にカウンセリングとの出逢いでは教えたり躊躇しないでも、共感の中で人が成長したり適応したりしようとする健やかさを發揮できることを実感した。そしてキャンプやカウンセリングの実践をかさね、既存の学校制度とは別の学校、自然の中、やりたいことをやり、遊びが学びとなり、学びが遊びとなる学校を親たちと共につくろうと提案したのだ。

この思いに賛同した人がスタッフとなり「自由な学校」では有給の職員が2名、無給の研修生が1名で、子どもたちの学びの支援を行っている。近所の人たちと作った校舎はいわゆる廃棄物で造ったもの。農園は伊勢さんやスタッフが出来るだけ有機農法で行っている。循環型の建物や有機農法にも「子どもたちに健やかに育ってもらいたい」という伊勢さんの思いが込められている。

ひとや自然とふれあい、自由になる。



NPO法人自然スクール
TOEC(トエック)代表
いせたつろう
伊勢達郎さん

事務所: 〒770-0855 徳島県徳島市新蔵町1-80
自由な学校: 〒774-0043 徳島県阿南市柳島町南高川原92
TEL: 088-626-3436 FAX: 088-626-3533
ホームページ: <http://www.ne.jp/asahi/outdoor/toec/>
メールアドレス: toec@asahi-net.email.ne.jp

シリーズ・このひとから

子育て応援ボランティア

～子供たちの笑顔に会えて元気な声が“こだまする”石井町！～

『未来を担う子供たちが心身ともに健やかに成長して欲しい』と願い、石井町では様々なボランティア活動が展開されています。(その一部をご紹介します。)

★子育てサロン【NPO法人 こどもねっといしい】

食育・リトミック・季節の行事などプログラムは多彩。

★おるすばんハウスとおりやんせ【NPO法人 あかねの和】

急用、育児や介護に疲れた時などに誰でも利用できる“お預かりサービス”。

★移動図書館車「ふじっこ号」【石井町社会福祉協議会】

絵本・児童書・紙芝居と『夢』を乗せて、保育所・幼稚園やイベント等に出動中。

これらのボランティア活動が心地よく継続できている要素は、その場に居る皆さんのが仲間という感覚で、個々が持つ“得意なコト”(役割)が生かされ、共有・共感できていることだと思います。

石井町地域子育て応援団も始動し、今後は更に連携・協働した取り組みが生まれます。
今、目の前に居る子

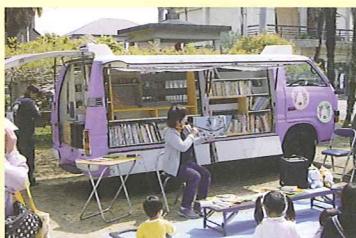
石井町社会福祉協議会 村本 晃子

供たちが末永くボランティアと関わり合えるまちづくりの実現に向けて、石井町社会福祉協議会は地域の皆さんと一緒に頑張っていきます！



村本 晃子さん

石井町社会福祉協議会ボランティアコーディネーター
徳島県市町村社協職員連絡会・ボランティアコーディネート部会長
ボランティアコーディネーター研究集会inとくしま実行委員長
人と人のつながりを最も大切にしている。チャームポイントの笑顔でコツコツと活動を積み重ねています。



栄養教室から始まり、自立支援・総合的アプローチへ エピソード4

1997年、TICOはザンビアの首都ルサカの貧困地区で自立支援事業を開始した。建設したコミュニティーセンターを核に、母親を対象とした栄養教室、職業訓練、保育所から小学校の併設まで、最初の数年は運営にTICOが深く関わっていたが、現在はザンビア人が自立運営するまで大きく成長した。

そんな中、2002年に南部アフリカを大干ばつが襲った。ザンビアでの被災者は200万人、TICOも農村部ヘトラックを走らせ食糧配給やワクチン接種を手伝った。しかし、ただ何かをあげるだけの援助では続かない。そこでTICOは、安全な飲み水と農業

NPO法人TICO代表 吉田 修

用水の確保(Water)、干ばつに強い農業(Agriculture)、自分たちで守る健康(Health)、それらを支える教育(Education)の4つを柱とする総合的なアプローチ「WAHEプロジェクト」を考案した。再び干ばつが起こっても、住民が自ら守り解決できる地域づくりを目指している。



吉田 修さん 外科医(自称兼業農家)
NPO法人TICO(ティコ)代表
アフリカをはじめ世界各国にて国際医療援助活動を実施。現在吉野川市山川町のさくら診療所で地域医療を実践しながらTICOを運営。



コミュニティースクール(小学校)のこどもたち